２０１９年度
看護教員・看護職のための放射線教育研修会プログラム
弘前大学

目　的	看護基礎教育において放射線看護を担当される教員もしくは、医療機関において放射線診断、放射線治療などの領域で活躍されている看護職の皆さまに、放射線に関する知識・技術を普及させることを目的とした研修です。講義とともに放射線測定器を使って、放射線源や移動型エックス線撮影装置などの測定演習を行い、放射線基礎、防護方策の理解促進を図ります。
主　催	弘前大学大学院保健学研究科放射線看護教育支援センター
協　賛	公益社団法人日本アイソトープ協会
日　程	2019年7月6（土）13:00～、7日（日）8:30～
場　所	弘前大学大学院保健学研究科（青森県弘前市本町66-1）
対象者	主に看護教育に係わる教育機関の先生方、看護職の方。
定　員	２０名
受講料	無料
申込方法	Ｗｅｂ参加登録　https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/supportcenter_c.html
使用テキスト	「看護と放射線」（公益社団法人日本アイソトープ協会刊行）
	受講生各自事前購入のうえ持参（購入先は JRIA Book Shop） （購入先は　https://www.jrias.or.jp/books/cat3/cat33/nyumon.html#05）
その他	（注意事項） 宿舎について：宿泊施設の手配は各自で行なってください。 キャンセルについて：メールで件名は「弘前開催・放射線教育研修会のキャンセル」、メールの内容に受講者の氏名を記入のうえ、申込み先へご連絡ください。

第１日目　　（講義）

時　間	内　　容
１３：００～	開場・受付
１３：３０～１３：４０	開講式
１３：４０～１３：５０	講師、受講生の自己紹介
１３：５０～１４：５０	講義①原子力・放射線利用の概要および放射線の基礎（60分）
１４：５０～１５：００	休　　憩
１５：００～１６：１０	講義②放射線による健康影響とリスク（70分）
１６：１０～１６：２０	休　　憩
１６：２０～１７：２０	講義③放射線利用における看護職の役割（60分）
１７：２０～１７：５０	質疑応答、翌日についてのガイダンス
１７：５０～１８：００	記念撮影

第２日目　　（演習）

時　間	内　　容
８：３０～８：４０	ガイダンス　演習会場へ移動
８：４０～１２：１０	測定実習①自然放射線の理解（テキストの演習1,2,3） 放射線測定器を用いた放射線測定と霧箱による放射線の観察
	測定実習②外部被ばくに対する防護方策（テキストの演習4） 基本となる事項（時間、遮蔽、距離）
	測定実習③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策(テキストの演習5)撮影現場における線量の把握
１２：１０～１２：２０	休　　憩
１２：２０～１２：５０	全体を通して質疑応答（アンケート記入）
１２：５０～１３：００	閉講式（修了証授与）

担当者氏名	弘前大学大学院　保健学研究科　放射線看護教育支援センター 〒036-8564　青森県弘前市本町66-1 看護教員・看護職のための放射線教育研修会　事務担当：柏村
メールアドレス	hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp
ｔｅｌ	0172-39-5518
ｆａｘ	0172-39-5912

２０１９年度
看護職・看護教員のための放射線教育研修会プログラム
福島県立医科大学

目　的	医療機関において放射線診断、放射線治療などの領域で活躍されている看護職の皆さま、あるいは看護基礎課程において放射線看護を担当される教員の皆さまに、放射線に関する知識・技術を普及させることを目的とした研修です。講義とともに放射線測定器を使って、放射線源や移動型エックス線撮影装置などの測定演習を行い、放射線基礎、防護方策の理解促進を図ります。福島の原発事故の経験を踏まえた、放射線と健康についての考え方を共有します。
主　催	福島県立医科大学　放射線健康管理学講座
協　賛	公益社団法人　日本アイソトープ協会
日　程	2020年2月23日（日曜日）
場　所	福島県立医科大学（福島県福島市光が丘1番地）
	災害医学・医療産業棟　７階＆８階
対象者	主に医療現場で放射線に関わる看護職の方、看護教育に係わる教育機関の先生方。
定　員	２０名
受講料	3500円（教科書代、昼食代を含む）
申込方法	メール（houken@fmu.ac.jp）にてお申込みください。メールで件名は、「放射線教育研修会申込み」、メールの内容に申込者の氏名・所属・職種・連絡先（電話番号）をご記入ください。
使用テキスト	「看護と放射線」（公益社団法人日本アイソトープ協会刊行）
	研修会当日に参加費と引き換えにてお渡しします。
その他	（注意事項） 宿舎について：必要に応じて各自ホテルを手配してください。 キャンセルについて：開催日の２週間前までにお知らせください。メールで件名は「放射線教育研修会のキャンセル」、メールの内容に受講者の氏名と開催日を記入のうえ、申込み先へご連絡ください。 キャンセル料の返金について：不参加の場合は参加費を徴収しません。ただし２週間を切ってのキャンセルは昼食代を除く参加費を徴収させていただく場合があります。

午前

時　間	内　　容
８：４０～	開場・受付
９:００～９:１０	開講式
９:１０～９:２０	講師、受講生の自己紹介
９:２０～１０:００	講義①原子力・放射線利用の概要および放射線の基礎
１０:００～１１:２０	講義②放射線による健康影響とリスク
１１:２０～１１:３０	休　　憩
１１:３０～１２:３０	測定実習①外部被ばくに対する防護方策（テキストの演習4） 基本となる事項（時間、遮蔽、距離）
１２:３０～１３:３０	休　　憩　（ランチセミナー　原子量災害と看護職）

午後　　（演習）

時　間	内　　容
１３：３０～１４：１０	講義③放射線利用における看護職の役割
１４：１０～１４：２０	休　　憩
１４：２０～１６:２０	測定実習②自然放射線の理解（テキストの演習1,2,3） 放射線測定器を用いた放射線測定と霧箱による放射線の観察
	測定実習③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策(テキストの演習5)撮影現場における線量の把握
１６：２０～１６:３０	休　憩
１６：３０～１７:１０	意見交換会ならびにアンケート記入
１７：１０～	閉講式（修了証授与）

担当者氏名	福島県立医科大学　放射線健康管理学講座　准教授：緑川早苗　秘書：小泉三保子
メールアドレス	放射線健康管理学講座 代表アドレス houken@fmu.ac.jp
ｔｅｌ	024-547-1891（放射線健康管理学講座直通）
ｆａｘ	024-547-1889（放射線健康管理学講座直通）

２０１９年度
放射線看護短期課程－看護教員・看護職のための放射線教育研修会
放射線医学総合研究所

目　的	看護基礎課程において放射線看護を担当される教員もしくは、医療機関において放射線診断、放射線治療などの領域で活躍されている看護職の皆さまに、放射線に関する知識・技術を普及させることを目的とした短期研修です。講義とともに、放射線測定器を使って放射線源や移動型エックス線撮影装置などの測定演習を行い、放射線基礎・防護方策の理解促進を図ります。
主　催	国立研究開発法人　量子科学技術研究開発機構
共　賛	公益社団法人　日本アイソトープ協会
日　程	１１月７日（木）～８日（金）
場　所	放射線医学総合研究所　人材育成センター
対象者	主に看護教育に係わる教育機関の先生方、看護職の方。
定　員	２０名
受講料	９，４００円(テキスト代含む)
申込方法	Ｗｅｂ参加登録　https://www.nirs.qst.go.jp/information/training/invitation/index.html
使用テキスト	「看護と放射線」（公益社団法人日本アイソトープ協会刊行）
	研修会当日にお渡しします。
その他	（注意事項） 宿舎について：利用できます。上記Web参加登録のページをご参照ください。 キャンセルについて：メールで件名は「放射線教育研修会のキャンセル」、メールの内容に受講者の氏名と開催日を記入のうえ、申込み先へご連絡ください。 キャンセル料の返金について：上記Web参加登録のページをご参照ください。

第１日目　（講義）

時　間	内　容
１３：３０～	開場・受付
１３：３０～１３：４０	開講式
１３：４０～１３：５０	教員、受講生の自己紹介
１３：５０～１４：５０	講義①放射線利用における看護職の役割
１４：５０～１５：００	休　憩
１５：００～１６：００	講義②原子力・放射線利用の概要および放射線の基礎
１６：００～１６：１０	休　憩
１６：１０～１７：４０	講義③放射線による健康影響とリスク
１７：４０～１８：１０	意見交換会、翌日についてのガイダンス

第２日目　（演習）

時　間	内　容
８：５０～９：００	ガイダンス　立ち入り説明　演習会場へ移動
９：００～１２：４０	測定実習①自然放射線の理解（テキストの演習1,2,3） 放射線測定器を用いた放射線測定と霧箱による放射線の観察
	測定実習②外部被ばくに対する防護方策（テキストの演習4） 基本となる事項（時間、遮蔽、距離）
	測定実習③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策(テキストの演習5)撮影現場における線量の把握
１２：４０～１２：４５	休　憩
１２：４５～１３：１５	アンケート記入
１３：１５～１３：２５	閉講式（修了証授与）

担当者氏名	飯田治三
メールアドレス	kenshu@qst.go.jp
ｔｅｌ	０４３－２０６－３０４８
ｆａｘ	０４３－２５１－７８１９

２０１９年度
看護教員・看護職のための放射線教育研修会プログラム
東京医療保健大学

目　的	看護基礎課程において放射線看護を担当する教員もしくは、医療機関において放射線診療に係わる看護職の皆さまの、放射線に関する知識・技術を充実させることを目的とした研修です。講義とともに放射線測定器等を使って、自然放射線や移動型エックス線撮影装置からの放射線などの測定演習を行い、放射線基礎、防護方策の理解促進を図ります。
主　催	東京医療保健大学　放射線看護研修センター
協　賛	公益社団法人　日本アイソトープ協会
日　程	①2019年6月8日（土）13時～18時30分・9日（日）9時～13時30分 ②2019年10月26日（土）13時～18時30分・27日（日）9時～13時30分
場　所	東京医療保健大学　東が丘・立川看護学部
	国立病院機構キャンパス（東京都目黒区東が丘2-5-1）
対 象 者	主に看護教育に係わる教育機関の先生方、看護職の方。
定　員	２０名
受 講 料	８０００円（テキストおよび資料代含む）
申込方法	メール(ho-kensyu-te@thcu.ac.jp)にてお申し込みください。メールで件名は「放射線教育研修会申し込み」、メールの内容に希望研修日・申込者の氏名・所属・職種・連絡先（電話番号）をご記入ください。
使用テキスト	「看護と放射線」（公益社団法人日本アイソトープ協会刊行）
その他	（注意事項） キャンセルについて：メールで件名は「放射線教育研修会のキャンセル」、メールの内容に受講者の氏名と開催日を記入のうえ、申込み先へご連絡ください。 受講料は当日会場にてお支払いいただきます。

第１日目　　（講義）

時　間	内　　容
１３：００～	開場・受付
１３：３０～	開講式
	教員、受講生の自己紹介
	講義①放射線利用における看護職の役割
	講義②原子力・放射線利用の概要および放射線の基礎
	講義③放射線による健康影響・リスク
～１８：３０	意見交換会、翌日についてのガイダンス

第２日目　　（演習）

時　間	内　　容
８：５０～９：００	ガイダンス　演習会場へ移動
	測定実習①自然放射線の理解（テキストの演習1,2,3） 放射線測定器を用いた放射線測定と霧箱による放射線の観察
	測定実習②外部被ばくに対する防護方策（テキストの演習4） 基本となる事項（時間、遮蔽、距離）
	測定実習③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策(テキストの演習5)撮影現場における線量の把握
	アンケート記入
～１３：３０	閉講式（修了証授与）

担当者氏名	東京医療保健大学　放射線看護研修センター　（担当：加藤知子）
メールアドレス	ho-kensyu-te@thcu.ac.jp
ｔｅｌ	03-5779-5031(代表)
ｆａｘ	

２０１９年度
放射線看護ベーシックトレーニング
京都大学医学部附属病院

目　的	看護基礎教育において放射線看護を担当される教員もしくは、医療機関において放射線診断、放射線治療などの領域で活躍されている看護職の皆さまに、放射線に関する知識・技術を普及させることを目的とした研修です。講義とともに放射線測定器を使って、放射線源や移動型エックス線撮影装置などの測定演習を行い、放射線基礎、防護方策の理解促進を図ります。
共　催	弘前大学大学院保健学研究科放射線看護教育支援センター 京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター 京都大学医学部附属病院放射線部
協　賛	公益社団法人日本アイソトープ協会
日　程	2019年11月2日（土）受付8：30　開始8：50～
場　所	京都大学医学部附属病院　総合臨床教育・研修センター
対象者	主に看護職の方、看護教育に係わる教育機関の先生方。
定　員	２０名
受講料	無料
申込方法	Ｗｅｂ参加登録　https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/supportcenter_c.html
使用テキスト	「看護と放射線」（公益社団法人日本アイソトープ協会刊行）
	受講生各自事前購入のうえ持参 （購入先は　https://www.jrias.or.jp/books/cat3/cat33/nyumon.html#05
その他	（注意事項） 宿舎について：宿泊施設の手配は各自で行なってください。 キャンセルについて：メールで件名は「京都開催・放射線教育研修会のキャンセル」、メールの内容に受講者の氏名を記入のうえ、申込み先へご連絡ください。

プログラム　　（講義・演習）

時　間	内　　容
８：３０～	開場・受付
８：５０～　９：００	開講式
９：００～１０：１０	測定実習①自然放射線の理解（テキストの演習1,2,3） 放射線測定器を用いた放射線の計測と霧箱による放射線の観察
１０：２０～１１：２０	講義①原子力・放射線利用の概要および放射線の基礎講義
１１：３０～１２：３０	講義②放射線による健康影響とリスク
１２：３０～１３：３０	昼休憩
１３：３０～１４：４０ 前半 １４：５０～１６：００ 後半 （2グループ編成）	測定実習②外部被ばくに対する防護方策（テキストの演習4） 放射線防護の基本となる事項（時間、遮蔽、距離）
	測定実習③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策(テキストの演習5) 撮影現場における線量の把握
１６：１０～１７：１０	講義③放射線利用における看護職の役割
１７：１０～	アンケートQ&A　閉講式

担当者氏名	弘前大学大学院　保健学研究科　放射線看護教育支援センター 〒036-8564　青森県弘前市本町66-1 看護教員・看護職のための放射線教育研修会　事務担当：柏村
メールアドレス	hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp
ｔｅｌ	0172-39-5518
ｆａｘ	0172-39-5912

２０１９年度
看護教員・看護職のための放射線教育研修会プログラム
大分県立看護科学大学

目　的	看護基礎課程において放射線看護を担当される教員もしくは、医療機関において放射線診断、放射線治療などの領域で活躍されている看護職の皆さまに、放射線に関する知識・技術を普及させることを目的とした研修です。講義とともに放射線測定器を使って、放射線源や移動型エックス線撮影装置などの測定演習を行い、放射線基礎、防護方策の理解促進を図ります。
主　催	大分県立看護科学大学　環境保健学研究室
協　賛	公益社団法人　日本アイソトープ協会
日　程	7月25日（木）～26日（金）
場　所	大分県立看護科学大学 実習研究棟
対象者	主に看護教育に係わる教育機関の先生方、看護職の方。
定　員	20名
受講料	500円
申込方法	メール申請　アドレス：radnurse@oita-nhs.ac.jp メールの件名は、「放射線研修会申込み」、メールの内容に申込者の氏名・所属・職種・連絡先（電話番号）をご記入ください。
使用テキスト	「看護と放射線」（公益社団法人日本アイソトープ協会刊行）
	受講生各自事前購入のうえ持参 （購入先は　https://www.jrias.or.jp/books/cat3/cat33/nyumon.html#05）
その他	（注意事項） 宿舎について：各自ホテルなどに宿泊をお願いします。

第１日目　　（講義）

時　間	内　　容
１３：００～	開場・受付
１３：３０～１３：４０	開講式
１３：４０～１３：５０	教員、受講生の自己紹介
１３：５０～１４：３０	講義①放射線利用における看護職の役割
１４：３０～１４：４０	休　　憩
１４：４０～１６：００	講義②医療放射線利用の概要および放射線の基礎
１６：００～１６：１０	休　　憩
１６：１０～１７：４０	講義③放射線による健康影響とリスク
１７：４０～１８：１０	意見交換会、翌日についてのガイダンス

第２日目　　（演習）

時　間	内　　容
８：５０～９：００	ガイダンス　演習会場へ移動
９：００～１２：４０	測定実習①自然放射線の理解（テキストの演習1,2,3） 放射線測定器を用いた放射線測定と霧箱による放射線の観察
	測定実習②外部被ばくに対する防護方策（テキストの演習4） 基本となる事項（時間、遮蔽、距離）
	測定実習③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策(テキストの演習5)撮影現場における線量の把握
１２：４０～１２：４５	休　　憩
１２：４５～１３：１５	アンケート記入、意見交換会
１３：１５～	閉講式（修了証授与）

担当者氏名	小嶋光明
メールアドレス	ojima@oita-nhs.ac.jp
ｔｅｌ	097-586-4437
ｆａｘ	097-586-4387